

生涯にわたって 社会のいたるところで学ぶための方法序説

地域の学習資源とつながる・つなげる

安西 春樹

提案：地域の学習資源を学びの場につなげる役割を考えてみませんか

地域の学習資源

中央区民カレッジは、生涯学習の入り口として、修了単位をを目指す学び方、興味のある講座を個別に受講する学び方、また学んだことをボランティア活動などで地域に活かすことを目標としたコースなど、さまざまな学び方、関わり方ができるように地域にひらいた学びの場として中央区が開催してきました。

間口は広く、様々な学習機会

連携講座の様子①



連携講座の様子②

を経験して、出口は学習主体である受講者自身が次の学びのステージを獲得・選択できるように後押しする思いで担当職員が講座の企画運営を行っています。

今回は、講座実施のためには欠かせない地域の学習資源について、地域団体との連携についてふりかえってみたいと思います。

大学等との連携

公的社会教育の事業において、学習資源として大きな割合を占めるのは、大学、企業、NPO などです。

2006年の中央区民カレッジ開校以来、連携講座としては約40団体、企画やスポットでの協力に至っては、数え切れないほど地域の団体から協力・支援をいただけてきました。

地域の学習資源としてすぐに思いつくのは、教育機関である大学かと思えます。意外に思われることが多いのですが、中央区に本拠地（キャンパス）を持つ大学は、聖路加国際大学1校のみです。同校との連携は、区

民カレッジ開設以来、聖路加看護大学時代から現在まで続いており、健康・医療・在宅介護などをテーマに講座を実施しています。

大学関連施設として区内に東京サテライトキャンパスを置いておりました京都造形芸術大学（現京都芸術大学）、社会人向けの学習講座を多く手がけている早稲田大学エクステンションセンターも区民カレッジ開設当初から連携先として、区民の学びの場の提供を支えていただけてきました。

また、区内に東京事務所等の関連施設を設置していた大学として、恵泉女子大学、芝浦工業大学、岡山大学、金沢大学、近畿大学、同志社大学も連携先として特色ある講座を開講してきました。

その他、地域の特色として、江戸時代の蘭学塾や外国人居留地のあった築地を発祥の地としている大学も、今でこそ区内には関連施設はありませんが、快く協力をいただき連携先として

中央区民カレッジ連携先(抜粋)

中央区民カレッジ連携・協力 団体 (抜粋)	カテゴリー	開始年度	2025年度
東京魚市場卸協同組合	その他団体	2006	
早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校	大学 (関連施設)	2006	○
京都造形芸術大学東京サテライトキャンパス	大学 (関連施設)	2006	
ブリヂストン美術館	博物館	2006	
松竹株式会社	企業	2006	○
聖路加国際大学	大学	2006	○
国立近代美術館フィルムセンター	博物館	2006	
三井記念美術館	博物館	2006	○
長崎県東京事務所	地方自治体・アンテナショップ	2007	
和歌山県観光連盟	地方自治体・アンテナショップ	2007	
恵泉銀座センター	大学 (関連施設)	2008	
駐日オランダ王国大使館	その他団体	2008	
株式会社ミキモト	企業	2010	
工学院大学理科教育センター	大学 (中央区発祥)	2010	
奈良まほろば館	地方自治体・アンテナショップ	2010	
金沢大学(東京事務所)	大学 (関連施設)	2010	
NPO法人 金融と証券を学習する会	その他団体	2010	○
朝日新聞社	企業	2010	○
メゾン・デ・ミュゼ・デュ・モンド	企業	2010	○
青山学院大学	大学 (中央区発祥)	2010	
清水建設株式会社	企業	2011	○
KEK(高エネルギー加速器研究機構)	その他	2011	
大日本印刷株式会社	企業	2011	
明治学院大学	大学 (中央区発祥)	2011	
立教大学(セカンドステージ大学)	大学 (中央区発祥)	2011	
一般社団法人 シニア社会学会	その他団体	2012	○
小津和紙	企業	2012	○
時事通信社	企業	2012	○
芝浦工業大学	大学 (関連施設)	2012	
慶應義塾大学	大学 (中央区発祥)	2012	○
京都館	地方自治体・アンテナショップ	2012	
ぐんまちゃん家	地方自治体・アンテナショップ	2013	
岡山大学(東京事務所)	大学 (関連施設)	2013	
株式会社銀座十字屋	企業	2014	
同志社大学(東京サテライトキャンパス)	大学 (関連施設)	2014	○
近畿大学(東京センター)	大学 (関連施設)	2015	○
中央区社会福祉協議会	その他団体	2015	○
認定NPO法人 トリトン・アーツ・ネットワーク	その他団体	2017	○
銀座ギャラリーズ	その他団体	2018	○
三重テラス	地方自治体・アンテナショップ	2018	○
築地本願寺 GINZA SALON	その他団体	2018	
総合研究大学院大学	大学	2020	
東京証券取引所	企業	2020	○
NPO法人 築地食のまちづくり協議会	その他団体	2021	○
広島ブランドショップ TAU	地方自治体・アンテナショップ	2022	
東京水産振興会 豊海おさかなミュージアム	その他団体	2022	○
一般社団法人 日本横浜町エリアマネジメント	その他団体	2025	○

名を連ねてきました。

博物館等との連携・

企業・NPO等との連携

大学に並び、博物館・美術館も地域の学習資源です。また、多くの企業の本社や老舗が点在しているのも中央区の特色で、そうした地元企業もまた学習資源となります。

教育機関である大学や社会教育施設としての博物館・美術館

は、比較的スムーズに学習講座が実現できますが、企業との連携のスタートは、まずは公的な

生涯学習・社会教育への理解をいただくのが入口となります。

CSRの部署を持つ企業も今では多くありますが、学習講座の連携を図るには難しい場面も多

くあります。区の担当者は、その都度、相

役割分担を整えながら講座開設に至っています。

つながりは「ひと」

団体との連携講座は、区内に拠点を持つことが前提になりますので、施設の移転などにより、やむなく連携を終了した団体も

多くあります。他にも先方の組織改編によるものや、継続するうちに双方のメリットが薄れ、

実施の理由が立たなくなつてしま

うものもありました。

地域団体との連携は、継続・終了・新規開設を繰り返しつつ、担当者が地域の学習資源を常に探しながら、区民が様々な学習機会を得られるよう学習環境を整えることに努めてきました。

1990年代後半からのNPOの広がりや、その後の「新しい公共」「コ・クリエイション」「フィランソロピー」の概念のもと、企業・団体が地域に関心を持つ機運が

高まっていった時期でもあり、中央区では他にもさまざまな団体との連携が進みました。

その中でも、きっかけとなるのは、やはり「ひと」だと感じています。連携先、実施する中央区の双方にメリットがあつての連携とはなりますが、それだけではことは進みません。ここ

に区民の学習活動、公的社会教育への理解をいただける「ひと」

先方の担当者や講師が入ること

で、学びの場は実現するのだとつくづく感じています。また、一つの連携をきっかけに新たな協力関係が「ひと」を介して得られる場面も多々ありました。

今回は成人学習のほんの一角として、中央区の地域団体との連携を紹介しましたが、みなさんの地域でも社会教育に関わる「ひと」として、さまざまな学習資源を学びの場につなげる役割を担ってみませんか

安西春樹

(あんざい・はるき)

中央区区民部文化・生涯学習課 総括生涯学習指導員